

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22 年 2 月 28 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570110957
法人名	有限会社ルーク
事業所名	グループホーム ソフトハンド
所在地	秋田県秋田市新屋勝平町10番30号 (電 話) 018-863-7322
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年2月28日

【情報提供票より】 (平成22年2月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年2月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7人, 非常勤 2人, 常勤換算	8.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	22,000 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (1月29日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護 1	2	要介護 2	5
要介護 3	1	要介護 4	1
要介護 5		要支援 2	
年齢	平均 79 歳	最低 59 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三浦小児科・内科医院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地の中心で交通量の激しい場所に位置しておりますが、「目指せ！街角福祉！」をキャッチコピーに地域の中の溶け込み、コンビニやドラッグストアの日常的な利用、町内や近隣行事への参加、希望に沿った外出支援が盛んに行われているホームです。また、利用者のADLの維持・向上、認知症の進行予防へ継続して取り組まれ、ホーム内でもできる運動や体操を取り入れ、さらに作品づくりやレクリエーションによって認知機能の維持を図られる等、明るくにぎやかに支援が行われており、利用者の元気の良い声や笑顔が観られるホームです。H21.11.1に新事業所が設立され、ホーム間の連携を強く持ち、より良いサービスの向上に繋げようと協働、交流を持ち、利用者へは尊敬の念を持って接し、感謝の気持ちを言葉に表し、共生しているホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 地域密着型サービスとしての理念、運営推進会議を活かした取り組みについて着手され、始動し始めた状態です。まだまだ、模索状態であり、今後さらなる取り組みと改善を期待します。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 前回の外部評価を活用され、日々の業務や会議の中で各項目を念頭に活かした取り組みを行っておりましたが、自己評価については、施設長、副施設長(管理者)、計画作成担当者によって話し合い、記載、提示されており、記載後も職員への回覧等もない状態でした。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 今年度からようやく立ち上げ、7月、9月、12月の3回、開催されておりますが、メンバーとなっている市職員や包括支援センター等の職員、知見者の参加もなく、会議内容についても、模索状態で、どんなことを話題にして取り上げていったら良いかを参加メンバーに求めながらの実施となっています。運営推進会議開催の意義を理解され、メンバーへの周知と開催方法・内容等を工夫され、運営に反映できるよう取り組まれることを期待します。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 契約時に担当窓口の説明やホーム内の掲示、意見箱の設置、面会時や電話等によって、意見や要望を引き出す働きが行われています。また、運営推進会議でも家族からの意見をいただき、改善に向け、迅速な対応が行われ、運営に反映しています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会への加入によって、町内行事へは欠かさずに参加され、また、近隣地域で開催される各種行事への参加や地域の方の立ち寄り、いただき物、お茶や介護相談への対応など、街角福祉を目指し、地域の一員として地域に根ざした取り組みが行われております。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	従来の理念に加え、地域密着型としての理念に取り組みただけであり、新たな理念については、これから職員に周知する予定となっています。	○	地域密着型として、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるための、簡潔で分かりやすい理念の構築と職員への周知を期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の目に触れるところに掲示をされており、日常的な関わりの中や月2回の職員会議で話し合いが行われ、浸透が図られています。また、新任職員へは、新任職員研修で説明をされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入され、町内行事には毎回参加され、さらに近隣地域の行事への参加等が積極的に行われており、近所の方が気軽に立ち寄り、お茶を飲んで帰られる等、交流が盛んです。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を活用され、日々の業務の中で見直しや改善に向けた取り組みを項目を意識しておこなっており、優れた取り組みをしておりますが、自己評価については、施設長、管理者、計画作成担当者によってまとめられています。	○	職員が自己評価に取り組むことの意義を理解され、その方法について工夫されることを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	これまで運営推進会議は開催されていなかったのですが、今年度からようやく取り組み、3回実施されています。内容についても、メンバーからの意見や要望を取り入れての会議となっており、模索状態です。	○	運営推進会議を行うことの意義・理解を深め、メンバーへの働きかけ、会議内容、次第等に工夫をされ、サービスの向上に活かすことを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	気軽に連絡を取り合い、依頼や相談等、情報交換が行われております。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時には状況報告が行われ、健康状態や受診結果については都度、電話での報告が行われ、請求書送付時には写真や簡単な文書等によって報告が行われております。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時の説明や苦情受付窓口の掲示、面会時や電話での状況報告時、意見・要望の引き出しが行われています。また、運営推進会議での家族からの意見も迅速な対応で運営に反映しております。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	H21. 11月に新事業所を立ち上げたことにより職員が大幅に異動となりましたが、説明と空いた時間に顔を出すなどされ、大きな混乱もありませんでした。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内が公開され、外部研修への参加を申し込まれるのですが、定員等の関係で受講できていない状況です。内部研修については、年間計画の他に職員の意見を反映した研修が行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や計画作成担当者は、独自のネットワークづくりが出来ておられ、交流が図られ、情報交換等によってサービスの質の向上への取り組みが行われております。また、グループホーム協会等への参加へも取り組んでいきたいと考えています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、入居前に見学や体験利用が出来る等の工夫をされ、検討してもらう時間を作り、納得のいく形で違和感なく入れるよう取り組まれております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人や家族等からの情報を基に、生活歴やこれまでの生き方を理解され、好きなことや趣味、できることが利用者本位でできるように、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	聞き取りアンケートや日常会話の中で一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を引き出し、把握に努められています。また、家族等からは、面会時や電話等で意向を確認しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	思いや意向の把握に努め、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について、医師からの助言をいただく等され、職員会議等で話し合わせ、反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6カ月を基準にケアプランが立案され、毎月の会議によって3名程、個別では3カ月に1回のモニタリングとなるようにされ、見直しが行われています。変化時には、随時の見直しが行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出や外泊、受診等、利用者・家族等の意向に沿った柔軟な対応が行われております。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に利用されていたかかりつけ医や希望の病院受診が出来るように家族等の協力を得ながら、支援されています。家族等ができない場合には、職員付き添いによる受診が行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族等へは、医療を伴う重度化や終末期については、ホームの体制から限界があることを説明され、医師との話し合いの下、個々の状況に合わせた対応が行われており、家族等からも同意を得ております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	研修会議によって周知を図り、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。また、記録物については、事務所内に職員以外の方の視界に入らないように保管が行われています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者による選択・利用者本意の生活支援を念頭に接し、利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえや洗い物、茶碗拭き、片付け、掃除等当番や担当を決め、一人一人の力が発揮できるように支援されています。また、食事時は、職員1名が利用者と共に同じ食事を楽しみ、話題提供が行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、毎日でも可能であり、実際に入浴されている方もいます。また、最低でも週に2回は入浴していただけるように支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や残存機能・能力を活かし、個人・利用者同士・職員とのかかわりの中で、できること・できそうなことを見つけ出し、役割を持っていただくことで楽しみながら、自発的に関わりが持てるように支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くのコンビニ・ドラッグストアへは毎日のように出かけ、ドライブや山菜採り、散歩、買い物、地域行事への参加、施設訪問、帰省等、週に2回は、定期的に行えるように外出支援が行われております。また、天候をみながら、随時、外出に取り組まれております。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間想定火災に対する訓練が、消防署員立ち合いの下、年に2回行われ、職員・利用者とも、避難方法を身につけております。また、AEDを設置され、その研修会も行われています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の作ったメニューを参考に1600kcal前後の食事提供が行われています。また、利用者の状態に応じ、医師の指導のもとに摂取カロリーや成分・形態別の食事の提供も行われ、摂取量や水分量のチェックにより健康面に配慮された支援が行われております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには、大きなテレビが配置され、ソファや回転式の椅子、小上がりの畳スペースが設けられ、利用者の憩いの場としての工夫があり、浴室・洗面・トイレ・廊下等には、利用者が使いやすいような工夫があり、不快な音や臭いもなく、季節感を取り入れた手作りの作品が飾られ、家庭的な雰囲気を醸し出しております。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた筆筒や鏡台、ベッド、椅子、位牌、家族の写真等が持ち込まれ、さらに手作りの作品等が飾られ、それぞれが居心地よく過ごせるよう家庭的で、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。